

令和5年度 “ふじのくに”^{しみん}士民協働 施策レビュー 改善提案とりまとめシート

1 基本情報

政策	政策5 子どもが健やかに学び育つ社会の形成		
政策の柱	5-1 結婚の希望をかなえ、安心して出産や子育てができる環境づくり		
議論した施策	(1) 結婚から新生活へのライフプランの支援 (2) 社会全体で子育てを支援する体制の充実 (3) 保育サービス・幼児教育の充実 (4) 子どもや母親の健康の保持・増進		
実施日/班名	10月15日(日) 第4班	担当部局名	健康福祉部 こども未来課 こども家庭課

2 コーディネーター取りまとめコメント (コーディネーターが議論を総括して取りまとめ)

結婚の希望をかなえ、安心して出産や子育てができる環境づくりに関する多くの論点を議論した。

結婚については、出会いサポートセンター等の県の取組の更なる周知等^①が課題となっている。

子育てについては、育児休業の取得促進^②と、子育てに対するイメージアップ^③が課題としてあげられた。特に、男性の育児休業取得率向上のため、復帰後のキャリアパスの支援や育児休業を取得しやすい職場環境の整備等、企業の理解促進が必要である。

保育については、子育てと仕事の両立支援^④、保育士の就労環境の改善^⑤などが課題としてあげられた。特に、保育士の就労環境については、業務のICT化の推進や、メンタルヘルスケアに関する相談窓口を設置するなどし、改善していく必要がある。

3 施策改善案 (県民評価者が記載した改善提案シートの取りまとめ)

- ①結婚を望む男女を支援するため、県実施による「安全・安心」を押し出した更なる周知が必要である。
- ②男性の育児休業取得率向上のため、復帰後のキャリアパスの支援や育児休業を取得しやすい職場環境の整備等、企業の理解促進が必要である。
- ③経済的な負担など、子育てに対するマイナスイメージを払拭するため、子育ての喜びや楽しさを伝える取組を実施し、広報していくことが必要である。
- ④子育てと仕事の両立を支援するため、放課後児童支援員への研修の充実や、放課後児童クラブの環境をさらに整備していく必要がある。
- ⑤保育士の就労環境を改善し定着を促進するため、業務のICT化により負担を軽減することが必要である。また、クレーム対応を一人で抱えないよう、保育士のメンタルヘルスをケアする仕組みも整備していく必要がある。